



「主治医の意見書」作成用アンケート

辻保順医院

ご本人（申請者）の氏名		記入日	
記入者氏名	続柄（ ）		

当院以外に通院中の医療機関はありますか？	なし	あり	→病院・診療所名 []
			診療科目 []

1	日常の全体像について（該当するものに○）
a.	家事*や身の回りのこと**は自分ででき、電車・バス・タクシーや自家用車を利用してひとりで遠出できる。
b.	家事や身の回りのことは自分ででき、近所ならひとりで出かけられる。
c.	身の回りのことは自分でできるが、外出には介助者が必要。
d.	身の回りのことは自分でできるが、外出することは少なく、日中も寝たり起きたり。
e.	身の回りのことに介助が必要で、横になっている時間は長いですが、自分で移動できる。
f.	身の回りのことに介助が必要で、横になっている時間が長く、介助なしでは移動できない。
g.	一日中横になっていて、排泄もその場で行う。 [* 家事：食事の支度・掃除・洗濯...]
h.	寝たきりで、寝返りも自力ではできない。 [**身の回りのこと：歯みがき・洗顔・整髪・身支度・食事・トイレ...]

2	認知症（ぼけ）について（該当するものに○）
a.	認知症はない。
b.	多少はあるが、家庭内・社会で他者の援助はほとんど必要ない。
c.	生活に支障をきたすことがあり、他者の「見守り」や「合図・声かけ」が必要。
d.	生活に支障をきたすので、場面によりけり他者の援助が必要。
e.	生活に支障をきたすので、常に他者の援助が必要。
f.	精神症状・問題行動が著しく、専門医療が必要。

3	具体的にお尋ねします。（該当するものに○）
物忘れは [目立たない・少しある・著しい]	自分で意思決定は [できる・場合によりけり・できない]
自分の意思を相手に [伝えられる・伝えるのが少し困難・具体的な要求のみ伝えられる・伝えられない]	
幻覚・幻聴 [ない・ある] 実際にはないものが見える、聞こえる	妄想 [ない・ある] お金やものがなくなった・盗まれた
昼夜逆転 [ない・ある]	暴言 [ない・ある]
暴力的行為 [ない・ある]	介護の拒絶 [ない・ある]
徘徊 [ない・ある] 目的なく歩きまわる、迷子になる	火の不始末 [ない・ある]
不潔行為 [ない・ある] 便をもてあそぶなど	異食行動 [ない・ある]
性的問題行動 [ない・ある]	その他の困ること []

4	身体の状態（該当するものに○、→具体的に）	立位を保つことができるなら身長・体重は計測します。
右利きですか、左利きですか？ [右・左]	おおよその身長 [] cm、体重 [] Kg	
手足の欠損は [ない・ある] →	麻痺・筋力低下は [ない・ある] →	
関節は [よく動く・硬い] →	関節痛・腰痛は [ない・ある] →	
手足のふるえは [ない・ある] →	床ずれ・皮膚疾患 [ない・ある] →	

5	生活機能について（該当するものに○）
歩けますか？	[ひとりで歩ける ・ 寄りそってあげれば歩ける ・ 歩けない]
車椅子の使用は？	[必要ない ・ 自分で操作できる ・ 他者に押しもらっている]
杖・シルバーカー・装具	[必要ない ・ 屋外で使用 ・ 家の中でも使用]
排泄は	[おむつ ・ 簡易トイレ ・ トイレまで行ける] → 介助の必要性 [なし・あり]
失禁は	[ない ・ ときどきある ・ たびたびある] [留置カテーテル]
嚥みこみは	[問題ない ・ つかえたり、むせたりする]
食事は	[自分で食べられる ・ なんとかひとりでできる ・ 全面的に介助 ・ 経管栄養]
入浴は	[ひとりでできる ・ 部分的に介助 ・ 全面的に介助]

ご協力ありがとうございました。